

＊ 2020 Fall

参加無料!!!



大学ではどんな研究が行われているのだろうか？

ライスボールセミナーはお昼休みの時間に若手研究者が研究の魅力を発信するセミナーです。今年Zoom(ウェビナー)を使ったオンライン形式で実施しますので、お気軽にご参加ください。

<p>11月13日(金) 12:20~12:50</p>	<p>音の「非日常」</p>	<p>http://bit.ly/riceball-201113</p> 
<p>11月17日(火) 12:20~12:50</p>	<p>ワクワク感がとまらない大学院生活 ～睡眠中の心電図を用いたサーカディアンリズムの推定～</p>	<p>http://bit.ly/riceball-201117</p> 
<p>11月19日(木) 12:20~12:50</p>	<p>オノマトペを見る、聞く、感じる</p>	<p>http://bit.ly/riceball-201119</p> 
<p>11月20日(金) 12:20~12:50</p>	<p>iPS細胞形成における 分子メカニズムの解明と 三次元網膜組織作製法の構築</p>	<p>http://bit.ly/riceball-201120</p> 

共催:立命館大学総合科学技術研究機構、立命館大学BKC社系研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構
協力:経済学研究科、理工学研究科、情報理工学研究科、薬学研究科、生命科学研究科、スポーツ健康科学研究科

11月13日(金)

音の「非日常」

音声信号処理・非線形音響学・心理音響学



耿 毓庭
情報理工学研究科・D1

日常生活で、会話や音楽など色々な音が自然に耳に入っています。しかし、本来聞こえるはずのない超音波から何かが聞こえたり、物理的に実在しない音が耳に捉えられたり、という現象も起こっています。今回のセミナーで、このような「非日常」なことから、音の科学を紹介します。

大学院に進学したきっかけ

幼い頃、読書が一番の趣味でした。特に、自然科学の原則を発見した話に夢中になりました。そして、知識が増えるほど、発見の意欲が強くなってきて、「誰も発見していないことを少しでも見極めたい!」と思って、大学院に進学しました。

11月17日(火)

ワクワク感がとまらない大学院生活
～睡眠中の心電図を用いたサーカディアンリズムの推定～

生体医工学



増田 葉月
理工学研究科・M1

大学院生って何しているの? 実験? 解析? それだけではなく、学会発表、論文執筆など多岐にわたります。どんな力が身につくの? 研究の面白さ、大変だったことなどについてお話す予定です。大学院生活はワクワク感がとまらない! 進路の選択肢を増やしませんか?

大学院に進学したきっかけ

日本人の平均寿命は世界でもトップクラスですが、男性では約9年間、女性では約12年間は「日常生活に制限のある期間」となっています。健康寿命をのばすことで個人が喜びを感じ、また社会的負担を軽減することができ、私はその方法を工学的視点で探究していこうと考えました。

11月19日(木)

オノマトペを見る、聞く、感じる

実験心理学・認知心理学



郷原 皓彦
BKC社系研究機構・PD

「もふもふ」や「ニコニコ」など、私達は日常生活でさまざまなオノマトペと出会います。オノマトペを見ること、聞くこと、感じることにはどのような特徴があるのでしょうか。今回は、この問題について実験心理学、認知心理学の視点から調べた研究についてご紹介します。

大学院に進学したきっかけ

子どもの頃から日常会話や漫画などで出会うオノマトペやその音の響きが好きでした。学部生の時の講義でオノマトペの速さの印象を調べた研究があることを知り、私も心理学の視点からオノマトペを研究してみたいと思い、研究の道に進みました。

11月20日(金)

iPS細胞形成における分子メカニズムの解明と
三次元網膜組織作製法の構築

再生医学・分子生物学



植山 萌恵
R-GIRO・PD

近年、iPS細胞の再生医療応用が注目されています。しかし、iPS細胞が形成される分子メカニズムに関しては不明な点が多いなど解決すべき課題は多くあります。今回は、課題解決のために私が行ってきた基礎的研究とその応用について発表します。

大学院に進学したきっかけ

高校生のときにiPS細胞が発見され、それがもつ可能性に興味を持ちました。そのころから漠然とですが、この細胞について将来研究してみたいと思うようになりました。そして大学の講義でさまざまな知識を身につけるうちに、もっと深く研究し、それが今後の再生医療応用に役立てばいいなと考えたことが研究の道に進んだきっかけです。